東新住建株式会社 住宅市場研究室

問合せ先:小間 幸一、小崎 敦史 Tel: 0587-23-7461(直通)

0587-23-0011(代表)

メール: kouichi-koma@toshinjyuken.co.jp atsushi-kozaki@toshinjyuken.co.jp

ホームページ : http://www.jyuseikatsu.jp/

住宅市場天気図 2014年7月号

東新住建株式会社 住宅市場研究室では表記の資料を作成しましたのでご案内申し上げます。

■住宅市場天気とは

住宅市場天気図は、住宅市場の動向を総合的に見る上で必要な指標を毎月まとめたものです。マクロ景気、物価、エリアの住景気等の各種指標をまとめて表示するとともに、「赤:要注意、黄色:注意、緑:普通又は良」という具合に色分けで表示しておりますので、一目でチェックできます。エリアについても全国、関東圏、東海圏、近畿圏と広範に扱っております。ぜひ、ご活用ください。

■7月の愛知県住景気(①~⑥)

- ●現状/5月の着工戸数は総数で前年同月比、前月比共にプラスとなった。個別には貸家(賃貸アパート・マンション)と分譲戸建住宅で前年同月比、前月比を共に上回り、分譲マンションで前年同月比プラス、前月比マイナスとなった。持家(注文住宅)でも前年同月比はマイナスであったが前月比ではプラスとなった。消費税増税による反動減が底打ちし、緩やかな増加モードが戻ってきたような感じだ。
- ●先行き/全国的に着工戸数は底打ち~横ばいで推移する中、愛知県は堅調な自動車産業に支えられ、着工戸数が穏やかな上昇モードを期待させる動きとなってきている。今後、気になる点は大きくは二つ。一つは自動車関連の輸出が増加するかどうか?もう一つは土地価格や建築費の上振れによる住宅価格の上昇がどの程度発生するのか?である。それらを的確に把握するためにも景気・経済指標にますます目が離せなくなりそうだ。

※本稿の内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。 予めご了承願います。

(文責:小間幸一)

住宅市場天気図(NO.75 7月号 2014.7.24)※出典は次ページ参照。 東新住建株式会社 住宅市場研究室 小間、小崎

■住宅市場天気図は次ページ記載のインターネットサイトに定期的に掲載されるデータをもとに東新住建株式会社 住宅市場研究室で作成しました。色分けに関しては各指標の変化に応じ、「要注意」、「注意」、「普通又は良」に分けております。 ②個人が増加 全体を見渡したときに「要注意」の赤が多ければ住宅市場が厳しいといえます。逆に緑が目立てば、「普通又は良」の状態ですので住宅市場は安心できる状態といえます。 主要銀行貸出動向アンケート 貸出残高 国内銀行貸出約定平均金利日銀(ストック&新規) 月例経済報告 7月 景気動向指数 05年=100 愛知県景気動向指数 ①6か月ぶりに景気 (日銀7月)今後3ヶ月の資金需要見近 4月→5月 内閣府 3月確報→4月速報 内閣府 帝国データバンク 日銀(総貸出平残前年比) 基調判断の引上け (前月比) 1.229% (ストック) 5月 CI先行指数 106.5※→105.7 企業 6→3 **▲**14.6%→+15.6% 景気は、緩やかな回復基調が続いて 融 5月→6月 0.779% (新規) 114.7% 5月→6月 **+2.4%→+2.5**% CI先行指数 らり、消費税率引上げに伴う駆け込*み* ③前年同月比減 (前年同月比) 前月比 ▲0.001→▲0.004 (ストック) →116.0 需要の反動も和らぎつつある 個人 (前月差) ▲0.9※→▲0.8 € $\triangle 22.8\% \rightarrow \triangle 6.5\%$ **▲**12→2 前月比增 ● 5月→6月 +0.065→▲0.133 (新規) ④消費者物価指数は 消費者物価指数 (生鮮食品除総合指数) ※景気動向指数前月の数字は速報値より改定 国内企業物価指数 建築費指数 ⑧米国の住宅価格は ⑥住宅関連業界は先行きはプラスで、50が近い 年同月比で消費税増税 プラス 日銀※ S&Pケース・シラー住宅価格指標 (住宅 W) による影響を除いても +1.4% (前月比 4→5月) +2.2%→+0.4% (前月比 5月→6月) +0.3%→+0.2% (前月比 5月→6月) +0.02%→+0.43% 2013年第4四半期→2014年第1四半期 9通常モードに回復 ⑦マンション契約 ₹70%越えだが、 ※国内企業物価指数 先月 ⑭ほぼ横ばい しつつある (前年同月比 5月→6月) +4.4%→+4.6% (前年同月比 5月→6月) +3.86%→+3.50% 建売住宅の契約率も50%を割り込んでいる 前年同月比4→5月) +3.2%→+3.4% $\triangle 0.3\% \rightarrow +0.2\%$ の数字は速報値より改定 43.4→46.6\ 45.1→47.7 ▲トヨタ自動車販売台数(自販連) 景気は、緩やかな回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う 景気ウオッチャー 景気 総務省 (5月→6月) 込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。先行きについては、緩やかに回復していくと見込まれる/5月
→景気は、緩やかに回復していくと見込まれる/5月
→景気は、緩やかな回復差層が続いており、消費税率引上げに伴う駆込み需要の反動滅の影響も薄れつつある。/6月 現狀判断DI (前月差 +2.6) 現状DI (前月差 +3.2) 調査」、 4月→5月 (前月比) 53.8→53.3 47.8→48.8 3.6%→3.5% 要注意 住宅 (10)91.3%→99.6% (5月→6月) (前年同月比) ▲0.1ポイント 先行きDI (前日羊 +1 0) (前月差 ▲0.5) (2~3ヶ月先) ⑤減少 Home's掲載物件総数 首都圏 5月→6月 不動産経済研究所 不動産関連 広告折込枚数 ▲ 第1四半期→第2四半期 $6/20 \rightarrow 7/17$ 契約率 平均価格 読売IS(首都圏) 4,336,497件→4,616,292件 総合 ▲13→▲37 注文 ▲22→▲43 5156万円→4830万円 (前月差▲326万円、前年同月比▲0.1% マンション 普通または良 78.9%→76.6%(前月差▲2.3、前年同月差▲5.0) (前年比))譲戸建 +46→▲27 貸家 +12→▲20 建売住宅 4754.8万円→4452.5万円 (前月差▲302.3万円、前年同月比+5.2% 44.8%→46.5%(前月差+1.7、前年同月差+4.5) (+6.45%)⑤駆け込み増加の反 動減は意外に長引きる 景気ウオッチャー調査 土地売買移転登記件数 公示地価 完全失業率 常用労働者の1人平均 推計人口(単位:人)、世帯数※ 国土交通省 新設着工戸数 う。特に注文で顕著。 5月→6月(前月差) 3月→4月(前年同月比) 変動率•住宅地 13年10~12月→14年1~3月 4月→5月(対前年同月比) 月間給与総額 4月→5月(前月差、前年同月差) 南関東 12.920→16.637 14年3月→4月 東京圏 東京都 東京都 首都圏 $(\triangle 0.3\% \rightarrow +16.1\%)$ 人口 13.321.447→13.352.239 現状判断DI(各分野計) 25年 360.385円→351.652円 総数 $24.927(\blacktriangle9.1\%) \rightarrow 23.068(\blacktriangle20.8\%)$ $10.546(\triangle_{10.7\%}) \rightarrow 11.842(\triangle_{10.2\%})$ (前月差:+30,792、前年同月差:+83,178) $47.8 \rightarrow 48.4 (+0.6)$ 7.775→7.343 →26年 (前月比:▲2.42%) 持家 $4.879(\triangle_{19.8\%}) \rightarrow 4.494(\triangle_{21.4\%})$ $1.451(\triangle_{11.7\%}) \rightarrow 1.404(\triangle_{16.1\%})$ 3.8%→3.6% ⑪東海エリア 京 13年4月→14年4月 先行き判断DI(各分野計 $(+4.5\% \rightarrow \triangle 7.2\%)$ (前期差:▲0.2) 貸家 $11.372(+13.0\%) \rightarrow 10.013(+4.3\%)$ $5.081(+8.9\%) \rightarrow 5.402(+3.1\%)$ 現状もプラスで推移、 ▲0.7% $54.3 \rightarrow 54.2 (\triangle 0.1)$ 8.837→9.149 349.822円→351.652円 $6.799.021 \rightarrow 6.837.632$ 分譲戸建 $5.163(\triangle 2.2\%) \rightarrow 4.658(\triangle 9.4\%)$ $1.992(+11.5\%) \rightarrow 1.682(\triangle 11.0\%)$ 先行きは良好 **→**+0.7% (+8.7%→+3.3%) (前年同月比:+0.52%) (前月差:+38,611、前年同月差:+85,428) $3.098(\triangle_{47.1\%}) \rightarrow 3.742(\triangle_{56.2\%})$ $1.894(47.5\%) \rightarrow 3.266(424.5\%)$ 5.629→6.719 東海 愛知県 14年3月→4月 気 名古屋圏 (+1.8%→+7.7%) 280.577円→279.592円 $7.427.518 \rightarrow 7.437.337$ 現状判断DI(各分野計 25年 人口 総数 $8.626 (+0.1\%) \rightarrow 7.972 (\blacktriangle4.6\%)$ $4.723_{(+8.1\%)} \rightarrow 4.814_{(+10.6\%)}$ $44.9 \rightarrow 47.9 \cancel{\cancel{43}} 0$ $2.066 \rightarrow 1.652$ (前月差:+9,819、前年同月差:+8,9 8) →26年 3.0%→2.8% (前月比:▲0.35%) 持家 $3.698(\blacktriangle_{11.9\%}) \rightarrow 3.354(\blacktriangle_{23.6\%})$ $1.558(\triangle_{8.7\%}) \rightarrow 1.586(\triangle_{19.1\%})$ 知 先行き判断D(各分野計 $(+7.6\% \rightarrow +8.5\%)$ (前期差:▲0.2) 13年4月→14年4月 $2.691 (+5.8\%) \rightarrow 2.666 (+18.3\%)$ 貸家 $1.665(+22.4\%) \rightarrow 1.880(+48.7\%)$ 0.0% $53.8 \rightarrow 53.6 (\triangle 0.2)$ 1.853→1.562 280.762円→279.592円 分讓戸建 $1.376(+20.2\%) \rightarrow 1.324(+1.5\%)$ $878(+20.3\%) \rightarrow 895(+4.7\%)$ $3.007.069 \rightarrow 3.017.847$ **→+1.1%** (前月差:+10,778、前年同月差:+33.132) $(+7.8\% \rightarrow +1.0\%)$ (前年同月比:▲0.42%) $833_{(+15.9\%)} \rightarrow 479_{(+24.7\%)}$ $614_{(+7.3\%)} \rightarrow 390_{(+47.2\%)}$ 14年3月→4月 $6.941 \rightarrow 8.614$ 大阪圏 大阪府 近畿圏 近畿 $(+3.6\% \rightarrow +0.5\%)$ 290,684円→291,900円 8.844,756 -> 8.851,729 $12,424(+16.9\%) \rightarrow 10,095(\triangle 18.6\%)$ 現状判断DI(各分野計) 25年 人口 総数 $6.802_{(+36.4\%)} \rightarrow 4.804_{(\triangle 26.8\%)}$ 15土地取引件数は $45.9 \rightarrow 47.9 (+2.0)$ $5.523 \rightarrow 6.714$ →26年 4.2%→4.9% (前月比:+0.42%) (前月差:+6,973、前年同月差:▲9,412) 持家 $2.645(\triangle_{17.8\%}) \rightarrow 2.557(\triangle_{25.8\%})$ $739(\blacktriangle_{13.2\%}) \rightarrow 773(\blacktriangle_{30.7\%})$ 阪府 年々同月比プラス た行き判断DI(各分野計 $(\triangle 0.9\% \rightarrow +11.5\%)$ (前期差:+0.7) 13年4月→14年4月 貸家 $5.041 (+53.4\%) \rightarrow 3.854 (\triangle 19.0\%)$ $3.107_{(+74.4\%)} \rightarrow 2.011_{(\blacktriangle36.4\%)}$ 、前月比マイナス ▲0.9% $54.1 \rightarrow 54.5 (+0.4)$ $1.056 \rightarrow 1.164$ 291.391円→291.900円 沿譲戸建 $1.939_{(+0.8\%)} \rightarrow 1.873_{(\blacktriangle15.5\%)}$ $881(_{4.4\%}) \rightarrow 930(_{20.0\%})$ 3.921.173→3.931.084 $\rightarrow \triangle 0.1\%$ (前月差:+9,911、前年同月差:+29,238) $(+1.8\% \rightarrow 1.3\%)$ (前年同月比:+0.17%) $2.664(+25.4\%) \rightarrow 1.632(\triangle 14.3\%)$ $1.981_{(+42.9\%)} \rightarrow 982_{(\blacktriangle9.2\%)}$ ※平成24年8月から住民基本台帳法改正により、 (12)前年同月比マイナス、前月比プラス ⑬人口、世帯数共に前月差増、前年同月差増。 集計方法が変更になりました ④貸家と分譲戸建は前年 ■愛知県住景気(①~⑯) (文責:小間幸一) 司月比、前月比共にプラ ●現状/5月の着工戸数は総数で前年同月比、前月比共にプラスとなった。個別には貸家(賃貸アパート・マンション)と分譲戸建住宅で前年同月比、前月比を共に上回り、分譲マンションで前年同月

●現状/5月の着工戸数は総数で前年同月比、前月比共にプラスとなった。個別には貸家(賃貸アパート・マンション)と分譲戸建住宅で前年同月比、前月比を共に上回り、分譲マンションで前年同月 比プラス、前月比マイナスとなった。持家(注文住宅)でも前年同月比はマイナスであったが前月比ではプラスとなった。消費税増税による反動減が底打ちし、緩やかな増加モードが戻ってきたような感 じだ。

●先行き/全国的に着工戸数は底打ち~横ばいで推移する中、愛知県は堅調な自動車産業に支えられ、着工戸数が穏やかな上昇モードを期待させる動きとなってきている。今後、気になる点は大きくは二つ。一つは自動車関連の輸出が増加するかどうか?もう一つは土地価格や建築費の上振れによる住宅価格の上昇がどの程度発生するのか?である。それらを的確に把握するためにも景気・経済指標にますます目が離せなくなりそうだ。

<u>※本稿の内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。</u>

(4)貸家と分譲戸建は前年 同月比、前月比共にプラス。持家は前年同月比マイナスだが、前月比プラス。分譲マンションは前年 同月比プラスで前月比マイナスとなった。全体として 底打ちから緩やかな上昇

■出典

マクロ

内閣府 月例経済報告 http://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei.html 内閣府 月例経済報告 帝国データ 倒産件数 http://www.tdb.co.jp/report/index.html 帝国データバンク 倒産集計

金融

貸出残高 http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/dl/zan/kashi/index.htm 日本銀行 貸出・資金吸収動向等 国内銀行貸出約定平均利率 http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/yaku/index.htm 日本銀行貸出約定平均金利 主要銀行貸出アンケート http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/dl/zan/loos/index.htm 日本銀行 主要銀行貸出動向アンケート調査

先行指数

内閣府 景気動向指数 http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html 内閣府 景気動向指数結果 愛知県景気動向指数 http://www.pref.aichi.jp/0000033251.html 愛知県 あいちの景気動向

• 物価

消費者物価指数 http://www.stat.go.jp/data/cpi/1.htm 総務省 消費者物価指数 http://www.boj.or.jp/theme/research/stat/pi/cgpi/index.htm 日本銀行 企業物価指数 建物物価建築費 http://www.kensetu-navi.com/bunseki/shisu_kentiku/index.htm 財団法人建物物価調査会 建築費指数

- 景気

完全失業率 http://www.stat.go.jp/data/roudou/ 総務省 労働力調査 景気ウォッチャー調査 http://www.stat.go.jp/data/roudou/ 総務省 労働力調査 自動車販売台数 http://www.stat.go.jp/data/roudou/ 総務省 労働力調査 自動車販売台数 http://www.iada.or.jp/contents/data/type/index01.php 社団法人日本自動車販売協会連合会 新車販売台数

住景気

住団連景況感調査 http://www.judanren.or.jp/activity/chosa/report01/201001/index.html 社団法人住宅生産団体連合会 経営者の住宅景況感調査 Home's掲載物件総数 http://www.homes.co.jp/ Home's

首都圏マンション、分譲住宅契約率および平均価格 http://www.fudousankeizai.co.jp/ 株式会社不動産経済研究所 首都圏マンション・建売市場動向不動産関連広告折込枚数 http://www.yomiuri-is.co.jp/orikomidb/ 株式会社読売インフォメーションサービス 折込広告出稿動向

・エリア景気・エリア住景気

景気ウォッチャー調査 http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher_index.html 内閣府 景気ウォッチャー調査 土地売買移転登記件数 http://www.moj.go.jp/TOUKEI/ichiran/touki.html 法務省 登記統計統計表公示地価 http://www5.cao.go.jp/keizai3/watcher_index.html 内閣府 景気ウォッチャー調査 http://www.moj.go.jp/TOUKEI/ichiran/touki.html 法務省 登記統計統計表公示地価 http://tochi.mlit.go.jp/chika/kouji/2013/ 平成25年地価公示

完全失業率 東京都 http://www.toukei.metro.tokyo.jp/roudou/rd-index.htm 東京都 東京の労働力

完全失業率 愛知県 http://www2.aichi-rodo.go.jp/jyoho/docs/anteika01.html 愛知労働局 最近の雇用情勢

完全失業率 大阪府 http://www.pref.osaka.jp/rosei/koyo-situgyo-jyose/index.html 大阪府 大阪の雇用失業情勢

常用労働者の一人平均月間給与総額 東京都 http://www.toukei.metro.tokyo.jp/maikin/mk-index.htm 東京都 毎月勤労統計調査地方調査結果

常用労働者の一人平均月間給与総額 愛知県 $\frac{\text{http://www.pref.aichi.jp/0000029914.html}}{\text{obs: pref.aichi.jp/0000029914.html}}$ 愛知県 愛知県の勤労

常用労働者の一人平均月間給与総額 大阪府 http://www.pref.osaka.jp/toukei/maikin/index.html 大阪府 大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き

推計人口、世帯数 東京都 http://www.toukei.metro.tokyo.jp/jsuikei/js-index.htm 東京都 東京都の人口(推計)

推計人口、世帯数 愛知県 http://www.pref.aichi.jp/0000029691.html 愛知県 愛知県人口動向調査結果(月報)推計人口、世帯数 大阪府 http://www.pref.osaka.jp/toukei/iinkou/index.html 大阪府 大阪の毎月推計人口

着工数 http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku list.html 国土交通省 建築着工統計調査(月報)

着上数 http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html 国土父連省 建築着上統計調査(月報住宅エコポイント実施状況 http://jutaku.eco-points.jp/住宅エコポイント事務局

米国住宅景気

S&Pケース・シラー住宅価格指標 http://www.standardandpoors.com/ STANDARD&POOR'S Case-Shiller Home Price Indices

※上記資料をもとに 東新住建株式会社 住宅市場研究室にて作成